

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年 1月21日

議 会 議 長 様

議席番号 9 番

議員氏名 伊藤 美佐子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. HPVワクチンの積極的勧奨再開に向けて	<p>子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の定期接種に関してお伺いします。今も年間約1万人近くの方が子宮頸がんにかかり、約2,800人もの方が亡くなっています。子宮頸がんの原因であるHPVの感染を防ぐHPVワクチンは、国の2011年度からの基金事業を経て2013年に定期接種となり、小学校6年生から高校1年生に相当する女子は、接種を希望すれば無料で接種が可能となっています。一方で2013年6月から国は積極的勧奨を差し控えるとしたため、多くの自治体が対象者への通知をやめてしまい、基金事業の際に7割近くあった接種率が1%未満にまで激減しました。</p> <p>国は2020年10月と2021年1月の2度にわたり、HPVワクチンの定期接種の対応及び対象者等への周知について通知を発出し、市町村にHPVワクチン定期接種対象者へ情報提供の徹底を求めました。そこで、以下伺います。</p> <p>(1) 2020年10月に国から対象者へ情報提供に関する指示があったが、それに対する町の対応とその結果は。</p> <p>(2) 町における通知実施世代における令和2年度及び通知未実施であった令和元年度の対象者数、接種者数と接種率は。</p> <p>(3) 積極的勧奨が再開された場合に町での情報提供を行う対象者、周知方法は。</p>	町長 副町長 健康支援課長

1月21日 午前・午後10時15分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>2. 女性のデジタル人材育成、雇用、ひとり親家庭の支援策は</p>	<p>(4) 今後定期接種対象年齢以外への救済制度、キャッチアップ制度が導入された場合、町での情報提供を行う対象者、周知方法は。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、暮らしが脅かされ、生活に大きな影響が及んでおります。特にひとり親家庭は、経済的に厳しい状況におかれている事が多くなっています。2020年12月に独立行政法人労働政策研究・研修機構が実施した調査によると、「暮らし向きが苦しい」と回答したひとり親は60.8%さらに、「家計について不安」と回答したひとり親は55.6%に上りました。</p> <p>ひとり親家庭の雇用状況では、非正規雇用労働者が多く、コロナ禍で不安定な雇用状況となっております。そこで伺います。</p> <p>(1) 当町は、ひとり親家庭の現状をどう認識し、支援のために、どのような施策を行っているのか。 また、就労支援に関する施策は。</p> <p>(2) 国において、ひとり親家庭の安定した就労支援を目指す取組として、ひとり親自立促進パッケージが昨年4月に示されました。その中で「高等職業訓練促進給付金」の制度の拡充があり、デジタル分野の民間資格も対象になりました。その概要と受講の実績は。</p> <p>(3) 兵庫県宝塚市では非正規雇用の女性の支援として、女性活躍・男女共同参画の重点方針で、女性のデジタル人材育成を支援し、地域女性活躍推進交付金を活用した取組を行っています。内容は、市がNPO法人に業務を委託し、女性のデジタル技術の学び直しをする初級編から、仕事に役立つ実践編までのスキルを学習し再就職、転職への支援の取組を実施しています。 町で推進する考えは。</p>	<p>町長 副町長 子育て支援課長 人権・男女共同参画推進課長 総務課長 商工観光課長</p>

質問事項	質問要旨	指定答弁者
3. 雪による町の安全対策は	<p>今年是全国的な豪雪に見舞われており、埼玉県内でも1月6日午後から7日の未明にかけ積雪となりましたが状況を伺います。</p> <p>(1) 被害状況と対応は。</p> <p>(2) 公道や住宅街の道路対策は。</p> <p>(3) 高齢者が多くなっており対策を図るべきでは。</p>	<p>町長 副町長 くらし安全課長 都市施設整備課長</p>